

< 藤沢市：PTPS（公共交通優先システム） >

施策名	PTPS（公共交通優先システム）
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シース など	背景 1：ラッシュ時にはJR辻堂駅に向かうキス&ライド車両の増加により、交通渋滞が発生し、バスの定時制・速達性が損なわれている。 背景 2：公共交通としてのバスのサービス水準を向上することが、マイカー交通から公共交通への転換を促すことにつながる。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	目的・ねらい：JR辻堂駅北口から湘南ライフタウンへ向かう都市計画道路辻堂駅遠藤線の朝のラッシュ時におけるキス&ライド車両による交通渋滞のため、バス交通の定時制・速達性が損なわれており、PTPSの導入により、バス交通のサービス水準を向上し、マイカー交通をバス交通へ転換させることを目的とする。 対象交通：JR辻堂駅北口に集中するキス&ライド車両を公共交通としてのバスに転換させる。
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成11年度に神奈川県警察、神奈川県、バス事業者および市が導入について協議してきた。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	実施主体：神奈川県警察 検討組織：神奈川県警察、神奈川県、藤沢市 広報：平成12年3月24日に神奈川県警察が新聞発表 平成12年4月18日 藤沢市長が記者会見 平成12年5月中旬 藤沢CATVにて放映 費用負担：光ビーコン式車両感知器、信号機の高度化等を神奈川県警察が整備し、バス車載器をバス事業者が購入した。市は購入費の一部を補助している。

実施概要	対象地域：都市計画道路辻堂駅遠藤線 約5.3 km
対象地域 実施日時 施策内容 など	実施日時：平成12年3月27日運用開始 施策内容：光ビーコン 6基設置 対象区間内の信号機の高度化を実施 バス車載器 20基設置
効果測定内容	効果測定内容：対象区間内のバス移動時間の計測
測定内容 効果把握 など	効果把握結果：対象区間内のバス移動時間が従来の22～23分から、4～5分短縮され、17～18分となった。
取組上の課題	特になし
合意形成 費用負担 など	
その他特記事項	今後、市内の他の箇所でも、導入する予定
今後の方向性 地域指定 等	

以上

都道府県市名 : 神奈川県藤沢市
 担当部局名 : 計画建築部都市計画課